

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	えんじえるビレッジ		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ICT機器(PC・プログラミング)を活用した支援により、児童の興味関心を引き出し、主体的な学習姿勢の形成につながっている。今後も内容の充実を図ることで、更なる学習意欲の向上が期待される。	児童一人ひとりの理解度や特性に応じて学習内容や支援方法を調整し、無理なく取り組める個別支援を実施している。	支援方法や学習内容について職員間での情報共有を強化し、支援の質の均一化を図るため、定期的なケース会議や研修の充実を図る。
2	個別支援計画に基づいた学習支援とあわせて、挨拶やルール理解、掃除・片付け等の生活スキルの習得支援を一体的に実施しており、社会性の向上に寄与している。継続的な支援により、より実生活への定着が期待される。	PC操作やプログラミング等、児童の興味関心を活かした教材を活用し、主体的に学習へ参加できる環境づくりを行っている。	ICT教材やプログラミング内容の見直し・拡充を行い、児童の発達段階やニーズに応じたより効果的な学習支援の提供を目指す。

3	<p>児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別対応を重視しており、落ち着いて学習に取り組める環境が整備されている。今後は職員間での支援方法の共有を進めることで、さらなる支援の質の向上が期待される。</p>	<p>挨拶やルール理解、掃除・片付け等の日常生活スキルについて、日々の活動の中で繰り返し指導し、定着を図っている。</p>	<p>保護者との情報共有やフィードバックの機会を充実させ、家庭と連携した支援の強化を図る。</p>
---	---	---	---

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>職員間において支援方法や指導内容にばらつきが見られ、児童への関わり方や学習支援の進め方に差が生じる場合がある。特に、経験年数や専門性の違いにより支援の質に一定の差が見受けられる。</p>	<p>支援方法に関する共通理解の形成や標準化が十分でなく、職員間の情報共有の機会が限られていることが要因と考えられる。また、日常業務の中で振り返りや検討の時間が確保しにくい状況も影響している。</p>	<p>定期的なケース会議や支援検討会を実施し、支援方針や具体的な関わり方について職員間で共有・統一を図る。また、マニュアルや支援記録の標準化を進めることで、支援の質の均一化を目指す。</p>
2	<p>学習支援を中心としたプログラム構成となっているため、対人関係やコミュニケーション能力、社会性の向上を目的とした支援が相対的に不足する場面がある。</p>	<p>学習支援のニーズが高いことから、プログラム編成が学習中心となりやすく、SSTやグループ活動等を計画的に組み込む仕組みが十分に整備されていないことが要因である。</p>	<p>学習支援と並行して、SSTやグループワーク等を計画的に取り入れ、社会性や対人スキルの向上を目的とした支援を体系的に実施する。活動内容の見直しを行い、バランスの取れたプログラム構成を構築する。</p>
3	<p>保護者との情報共有について、連絡内容や頻度にばらつきがあり、支援状況や児童の変化が十分に伝わらない場合がある。結果として家庭と連動した支援が十分に機能しないケースも見られる。</p>	<p>保護者対応に関する明確なルールや共有ツールが統一されておらず、各職員の判断に委ねられている部分が多いことが要因である。また、業務多忙により十分な時間が確保できないことも影響している。</p>	<p>保護者との連絡方法や情報共有のルールを明確化し、連絡帳やICTツール等の活用を通じて、支援状況や児童の様子を定期的にフィードバックする体制を整備する。あわせて個別面談の機会を確保し、家庭と連携した支援の強化を図る。</p>

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	えんじえるビレッジ上依知			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	リズム活動や音遊び等を通じた感覚刺激の提供により、情緒の安定や自己表現の促進につながる支援を実施している。今後もプログラム内容の充実により、さらなる効果が期待される。	児童の身体状況や発達段階に応じて無理のない支援計画を作成し、安全面に配慮しながら日常生活動作(ADL)の向上に取り組んでいる。	職員の専門的知識・技術の向上を図るため、外部研修への参加や専門職との連携を強化し、より適切な支援の提供を目指す。
2	日常生活動作(ADL)の向上を目的とした個別支援を継続的に実施しており、児童の身体状況に応じた無理のない支援体制が整っている。継続支援により、生活の自立度向上が期待される。	リズム活動や音遊びを取り入れ、感覚刺激や情緒の安定、自己表現の促進につながる支援を実施している。	個別支援計画に基づく支援内容の見直しを定期的に行い、児童の状態変化に応じた柔軟な支援体制の構築を図る。

3	遠足や体験学習、調理活動等の多様な活動機会を提供しており、社会参加や対人関係の広がりにも寄与している。今後も地域資源を活用した活動の充実により、経験の幅の拡大が期待される。	遠足や体験学習、調理活動等を通じて、社会参加や生活経験の機会を意識的に提供している。	保護者との情報共有をより一層充実させるとともに、関係機関との連携を強化し、安心して利用できる環境づくりを推進する。
---	--	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	身体機能や医療的配慮を必要とする児童への支援において、職員間で専門的知識や技術に差が見られ、対応の質にばらつきが生じる場合がある。	専門職の配置状況や外部研修への参加機会が限られていることにより、専門的知識・技術の習得や更新が十分に行われていないことが要因と考えられる。また、日常業務の中でのOJTの仕組みも十分とは言えない。	外部研修への積極的な参加や、理学療法士・作業療法士等の専門職との連携を強化し、職員の専門性向上を図る。また、事業所内での研修や事例検討を通じて知識・技術の共有を進める。
2	個別支援を重視する必要があるため、集団活動の機会が限られ、他児との関わりや社会性を育む機会が十分に確保できない場合がある。	児童の身体状況や安全確保の観点から、個別対応が優先される傾向にあり、集団活動を実施するための環境設定や人員配置が十分に整っていないことが要因である。	小集団での活動を段階的に取り入れるとともに、児童の状態に応じた役割設定や活動内容の工夫により、無理のない範囲で他児との関わりの機会を増やす。あわせて職員配置の工夫により実施体制を整備する。
3	安全面への配慮を優先するあまり、活動内容が限定的になりやすく、体験活動や外出機会の幅が十分に広がらない傾向がある。	転倒や事故防止を重視した運営となっているため、活動内容の選定が慎重になり、結果として活動の幅が制限される傾向がある。また、外出時の人的配置や準備負担も影響している。	リスクアセスメントを行った上で安全対策を講じ、活動内容の見直しや工夫を行うことで、外出活動や体験学習の機会を段階的に拡充する。保護者とも連携しながら、安心して参加できる環境づくりを推進する。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 えんじえるビレッジ、えんじえるビレッジ上依知

公表日 令和8年4月10日

利用児童数 55名

回収数 26

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>やや手狭に感じる時間帯がある</li> <li>動線は確保されているが余裕がもう少しほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間帯ごとの活動分散とレイアウト見直しを実施</li> <li>福祉用具配置の最適化と動線確保の再検討</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	3	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね適切だが忙しそう場面がある</li> <li>手厚く見てもらえている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間帯別の配置見直しを実施</li> <li>引き続き加配体制を維持</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすいが個別対応に差がある</li> <li>安心して利用できる環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚支援ツールの統一</li> <li>更なる環境調整の継続</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>清潔で集中しやすい</li> <li>過ごしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃ルールの継続</li> <li>消毒・衛生管理の継続強化</li> </ul>
適切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習面は強いが関わり方に差あり</li> <li>丁寧に対応してもらえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援研修の実施</li> <li>専門研修の継続</li> </ul>
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね一致している</li> <li>活動内容が分かりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容説明の強化</li> <li>説明資料の充実</li> </ul>
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく考えられている</li> <li>丁寧に作られている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談頻度の調整</li> <li>専門職意見の反映強化</li> </ul>

ゆ な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やや分かりにくい</li> <li>・適切に設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明時に具体例提示</li> <li>・継続的見直し</li> </ul>
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ねできている</li> <li>・丁寧に実施されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の精度向上</li> <li>・定期評価の実施</li> </ul>
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やや固定化を感じる</li> <li>・変化があり良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の更新</li> <li>・季節活動の拡充</li> </ul>
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	5	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少ない</li> <li>・外出が楽しみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部交流機会の検討</li> <li>・地域連携強化</li> </ul>
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい</li> <li>・丁寧だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料更新</li> <li>・継続</li> </ul>
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解できた</li> <li>・丁寧だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明時間確保</li> <li>・継続</li> </ul>
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	6	8	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会が少ない</li> <li>・もう少しほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供機会増加</li> <li>・研修会検討</li> </ul>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡はあるが簡易</li> <li>・共有できている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容充実</li> <li>・継続</li> </ul>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し頻度希望</li> <li>・相談しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期面談増加</li> <li>・継続</li> </ul>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね良い</li> <li>・安心できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇研修</li> <li>・継続</li> </ul>

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	13	6	・機会が少ない ・あれば嬉しい	・交流機会検討 ・イベント企画
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	2	・対応は早い ・安心して相談できる	・窓口周知強化 ・継続
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1	0	0	・ややばらつき ・十分できている	・連絡方法統一 ・継続
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	0	・頻度が少ない ・分かりやすい	・SNS活用 ・継続
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	1	1	・問題なし ・安心している	・管理継続 ・継続
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	6	1	6	・説明不足感 ・安心できる	・周知強化 ・継続
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	5	1	7	・実施は不明 ・実施されている	・実施報告 ・継続
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	4	0	6	・概ね安心 ・安心できる	・周知強化 ・継続
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	5	0	2	・迅速 ・丁寧	・記録徹底 ・継続
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1	0	0	・安心している ・非常に安心	・継続 ・継続

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習中心で差あり</li> <li>・楽しみにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しさ要素追加</li> <li>・継続</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね満足</li> <li>・満足している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の向上</li> <li>・継続</li> </ul>

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	えんじえるビレッジ、えんじえるビレッジ上依知
------	------------------------

公表日 令和8年4月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		時間分散でスペース確保 動線配慮レイアウト	時間帯で手狭 更なる余裕確保
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	時間別配置調整 加配配置で対応	繁忙時不足感 人員確保課題
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		視覚支援で構造化 バリアフリー徹底	支援方法に差 個別調整強化
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		清掃ルール徹底 衛生管理徹底	維持にばらつき 継続管理必要
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別スペース確保 静養スペース確保	不足時あり スペース制限
※	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		ミーティング実施 PDCA共有	参加に差 時間確保課題
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケート実施 意見反映取組	活用不足あり 分析強化必要

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見交換機会あり 定期面談実施	発言偏り 共有不足
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	外部評価検討 外部助言活用	未実施あり 機会不足
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		内部研修実施 外部研修参加	内容差あり 機会確保課題
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	プログラム公表 分かりやすく掲示	更新不足にならないように早めに取り組む 周知不足が課題
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		アセスメント実施 多職種評価	精度差あり 共有不足
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		ケース会議実施 多職種連携	参加差あり 調整課題
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	情報共有実施 記録共有徹底	徹底不足 統一課題
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		観察記録活用 多面的評価	ツール未統一 標準化課題
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドライン準拠 項目整理	理解不足 周知強化

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	チーム立案 多職種関与	偏りあり 時間調整課題
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	教材更新工夫 活動変化工夫	固定化傾向 幅拡大課題
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別支援重視 個別対応徹底	集団不足 機会確保
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		事前打合せ実施 役割確認	簡略化あり 時間不足
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		振り返り実施 共有実施	形式化傾向 深掘り不足
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録徹底 詳細記録	質に差 負担大
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期見直し モニタリング実施	頻度差 時間確保課題
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8		活動組合せ実施 多様活動	偏りあり バランス課題
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		選択機会提供 意思尊重	限定的 選択幅課題	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		会議参加 関係者参加	担当偏り 調整負担	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		学校連携 医療連携	頻度差 強化必要
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎時共有 密な連携	簡易連絡 情報量課題
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	情報引継ぎ 関係機関連携	不十分あり 強化必要
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	進路情報提供 移行支援実施	機会少ない 連携課題
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	助言活用 センター連携	機会不足 確保必要
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	地域交流あり 外出活動	機会不足 拡充必要
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	協議会参加 地域連携	限定的 継続課題
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	日々共有 丁寧連絡	内容差 継続必要
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	情報提供あり 研修機会	機会不足 実施課題
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		丁寧説明 資料提示	理解差 時間確保	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	意向確認 意思尊重	形式化傾向 反映不足
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		計画説明 同意取得	時間不足 理解差
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談対応 柔軟対応	対応差 人員課題
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	交流機会 イベント実施	企画不足 頻度課題
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		体制整備 迅速対応	周知不足 継続強化
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNS発信 定期発信	頻度不足 内容充実
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		管理徹底 厳重管理	継続課題 意識差
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		配慮実施 個別対応	差あり 強化必要
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	地域交流 地域開放	機会不足 拡大課題	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	マニュアル整備 訓練実施	周知不足 継続必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	避難訓練 定期実施	頻度課題 継続
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		事前確認 詳細把握	更新不足 継続
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		個別対応 医師指示対応	情報不足 管理強化
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画 安全管理徹底	理解不足 周知強化
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		周知実施 丁寧説明	理解差 継続
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		共有実施 分析共有	活用不足 改善必要
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修実施 定期研修	意識差 継続
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		手続き実施 適切対応	理解不足 周知強化	